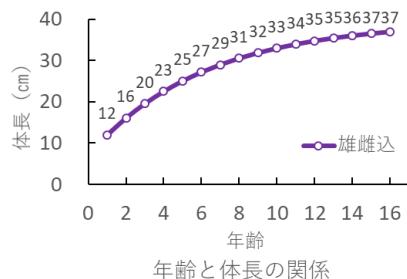


# ババガレイ（地方名：なめたがれい）

## 1 生態

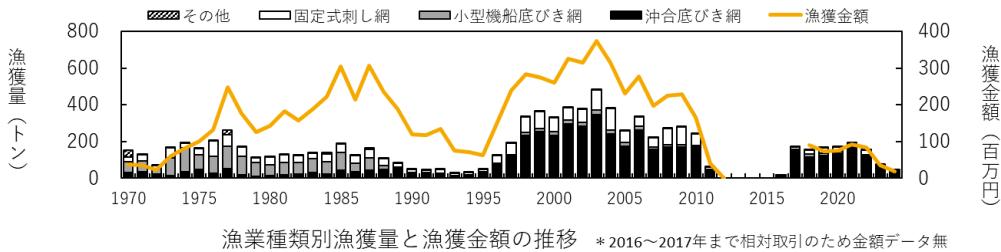
- 福島県ではごく沿岸から水深300mに分布し、主漁場は200~300mです。産卵に伴い北海道から常磐海域にかけての広い海域を移動すると考えられます。
- メスは体長30cmで20~80%成熟し、産卵期は3~4月と考えられます。
- 主に多毛類やイソギンチャク等のほか甲殻類を食べます。

\* 東北太平洋沖ババガレイにおける年齢査定法の確立（谷瀬ほか2020）により右図を作成



## 2 漁業に関する情報

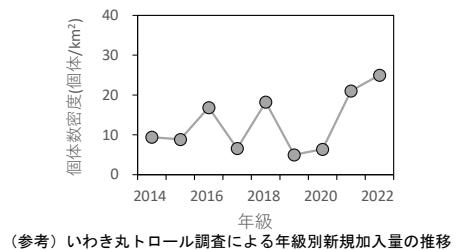
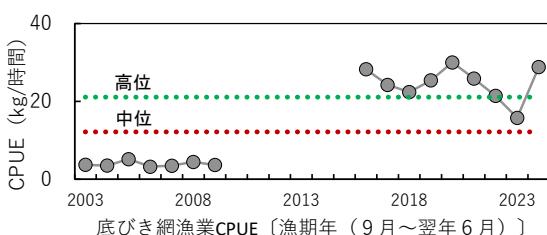
- 沖合底びき網及び小型機船底びき網や刺し網等で周年漁獲されています。
- 2024年（令和6年）の漁獲量は44トン、金額は18百万円でした。
- 2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2016年（平成28年）11月から再開されています。



\* 2016~2017年まで相対取引のため金額データ無

## 3 資源の状態

- 原発事故の影響により操業が限定されている中、震災前と同程度の漁獲量で推移していましたが、2021年（令和3年）以降、減少しています。
- 底びき網漁業のCPUE（曳網1時間あたりの漁獲量）は、2020年（令和2年）漁期以降、減少傾向でしたが、2024年（令和6年）漁期は増加しています。
- 2024年（令和6年）漁期の資源水準は高位で、資源動向は減少傾向にあります。
- 調査船調査の結果、2022年（令和4年）級の個体数密度は近年で最も高く、良好な加入水準と考えられました。



(参考) いわき丸トロール調査による年級別新規加入量の推移

## 4 資源管理の取組み

- 現在、実施されている取組みはありません。